

文部科学省学術フロンティア推進事業

阪神・淡路大震災後の地域社会との共生をめざした  
大学の新しい役割に関する実践的研究 報告書第40号

# 「市民」像の変容と地域社会 —兵庫県三木市の広報誌を題材に—

(地域社会学分野報告書)

神戸学院大学地域研究センター

CENTER FOR AREA RESEARCH AND DEVELOPMENT  
KOBE GAKUIN UNIVERSITY

# CARD

● *Studies on Region  
and Community*

● *Studies on Lifelong  
Integrated Education*

● *Cultural Anthropology*

● *Pharmaceutical Care  
in the Community*

● *Psychology*

● *Disaster Mitigation  
for Earthquake*

● *Environmental Health*

● *Science of Arts*

## 目次

はじめに	研究の目的と概要	1
	1. 研究の目的と概要.....	1
	2. 調査概要.....	2
	3. 三木市の概要.....	2
第一章	育成される市民（1954-1978年）	4
	納税.....	4
	家族の近代化.....	7
	社会教育.....	8
	生活改善運動.....	11
	三木時間.....	12
	善意銀行.....	13
	明るい町づくり運動.....	16
	市政と住民の声.....	18
	市民による活動.....	21
	三木市基本構想.....	21
	まとめ.....	22
第二章	活動する市民（1979-1993年）	23
	人口の増加と行政への期待.....	23
	「市民が目指す伝統と創造のまちづくり」へ.....	24
	付表 『広報みき』で紹介された「市民」活動例.....	30
第三章	潜在資源としての市民（1994-2009年）	33
	ボランティアの養成.....	33
	資源化する市民の活動.....	34
	「ボランティア活動の担い手づくり」から	
	「協働のまちづくり」へ.....	37
	協働のまちづくりに向けた行政的実験.....	39
	市が「協働のまちづくり」を進める背景.....	41
	人づくりとまちづくり.....	43
	市民活動支援事業.....	45
	「潜在資源としての市民」か？.....	47
おわりに		51